



NPO 金沢杜の里 NEWS

2021.4 No.37



鈴見橋

事業の推進を目指して



特定非営利活動法人
NPO 金沢杜の里

理事長 中村 治吉

今年度、NPO 金沢杜の里の理事長に就任しました中村治吉です。よろしくお願ひします。

会員及び地域の皆さんには、日頃は「NPO 金沢杜の里」の事業活動に、多大なご理解とご協力を賜りありがとうございます。

NPO 金沢杜の里は、NPO 法人が民間非営利の組織として、平成十九年に設立し、お陰様で今年十五年目を迎えることが出来ました。この間、山側環状道路の全線開通など、大学門前街として、住みよい良好な住宅環境とこれに伴う商業施設の地区として大きく発展してきました。

今年も、「花いっぱい運動」事業として、会員の皆さまや地域の方々、杜の里児童館の子供たちといっしょに季節の花苗を沿道に配置し、道行く人々の癒しと、美しい街づくり活動を続けていきたいと思っています。

昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大で各イベントの開催が中止になるなど、街の活性化が滞りました。早期に終末し支援事業が開催できることを願っています。当法人の設立目的である、『東部地域における「まちづくり活動」に積極的に参画し、この地域の人々が、健康やかに暮らせる緑豊かな環境づくりと、個性溢れる新しい拠点都市の形成を目指す。』ことを、今一度振り返りながら、今まで創ってきた街づくり、自然に恵まれた環境と景観を保全し、後世に繋いでいく事業活動を推進してまいりますので、皆さまのご支援ご協力を賜りたく、お願い致します。

令和2年度NPO金沢杜の里まちづくり活動状況

定款の事業名	事業名	事業内容	時期等	
特定非営利活動事業	調査・研究事業	①調査・研究会	●事業の調査・研究 ●地区計画申請の事前審査 ●講演会の開催	通年 通年 中止 通年 中止 随時
		②会員の拡大	●会員の勧奨 ●祭りギフト券の発行 ●その他のPR施策	
	啓発と普及を図る事業	③ニュース(会報)の発行	●ニュースの発行	4、7、11月
		④HP公開による情報公開活動	●サーバ管理	随時
	地域交流など交流連携推進事業	⑤まちおこしイベント等の開催及び支援事業	●まちおこしイベントの支援 ●杜の里小学校等の支援 ●自主防災組織の支援 ●金沢マラソンの支援 ●ミュージアムロードの支援	中止 中止 10月 中止 2月
			●花・いっぱい運動の推進 ●セットバック整備の推進	7回 通年
	環境保全・花いっぱい運動事業	⑦自然環境整備保全事業	●ホテルの育成活動の事業 ●卯辰山グリーンディン	3月 中止
		⑧地域美化運動推進事業	●公共設備等の点検整備 ●幹線道路清掃活動の推進	随時 12月
その他の事業	まちづくり環境整備受託事業	●私有地の除草等	5、7、8月	
	公共施設管理受託事業	●緑地小公園の管理	毎月	

街の声

「NEWS No.36号(R2.11)」等のご意見感想から

☆いつも多岐にわたる熱心な活動に敬服しております。また、もし今年も国際交流センターの協力があるようでしたら、ぜひ見学に行きたいです。でもコロナ禍で難しいかも知れませんね。郷土こぼれ話も懐かしく拝読しています。幼い頃祖母が話してくれた童話を思い出しております。ありがとうございます。

☆今年の夏、実家に稲刈りに行きました。コシヒカリは遅く、雨の後だったので、田んぼはゆるく機械が入らず、手作業で大変でした。山田んぼでイノシシがふみあらし、すごかったです。お米を大切に、☆わが町探訪での記事を読み、昔、崎浦小学校へ通った思い出がよみ返りました。小2まで中学校と併用していたのを思い出しました。となりのクラスは中学3年かわからないのですが、近所のお姉ちゃんが幼い弟をおぶって学校へ通っていたのを見ていました。その時、バクゼンと学ぶという事の大切さを感じました。

☆同居する孫が杜の里小学校に入学し、通学するうちに、杜の里小周辺の地理に詳しくなりました。道路沿いの花々のきれいで、お世話する方々の熱心さに感謝します。

☆道路沿いに植替えられた花を、子供がいつも指さして花の名前を呼び覚めています。いつもありがとうございます。

☆通勤には、「もりの里」を通っていますが、「町の歴史」や「こぼれ話」を読むと親しみが強くなります。

☆いつもNPO活動、おつかれ様です。このコロナウイルスで大変ななか、表紙の杜の里小運動会での勇ましいお子さん達の写真を見るだけで、心が温まります。いつも「杜の里NEWS」を楽しみにしています。

☆「わが町・探訪シリーズ17」より、戦前にかけて旭町が石川郡で、鈴見と若松が河北郡だったことを知り驚きました。

☆コロナで大変な時期(4~7月)も花苗のお世話や、どなたもいない私有地の草刈、剪定作業等されていたのですね。ベンチ塗替えも含め、街並みがきれいなのは、NPOの皆さんのおかげだと思っ頭がさがります。各種交流事業イベントが中止になり残念です。地域の小学校の様子が今回の広報紙でわかりました。「郷土こぼれ話」「わが町探訪」も載っているの、毎号大切に保管しています。

☆36号のクロスワードパズル空欄が次々と埋まったので、楽しかったです。次号を楽しみに待っています。

☆パズルの答えの「奥卯辰山健民公園」とても身近にあり、自然いっぱい公園です。先日、ウォーキングの機会があり、久しぶりに出かけました。色とりどりの花と満開の何本の桜が、一枚の絵の如く目にとびこんできて、それは素晴らしい光景でした。皆さまも来年は是非、この美しく珍しい景色をご覧なされてはいかが。令和3年、健やかな明るい年でありませうように。

☆いつも広報をありがとうございます。奥卯辰山健民公園と思いがちですが、「健民」公園でしたね。数年前から熊が気になって季節を楽しめず、残念です。今年はおもりの里界隈でも要注意となりました。里山の良さを保ちつつ安全に暮らすには、難しい問題ですね。

わが町・探訪シリーズ18 「もりの里地区形成」と「浅野川河岸段丘」

もりの里地区の美しい景観は浅野川の流れることによって形成されたが、浅野川は何年か、どのようにして作り上げたのでしょうか。「石川県の地質」などによると、小立野段丘・寺町段丘は約15万年前～5万年前に形成され、堆積物の礫(れき=小石)からみて、犀川は館山町から浅野川と合流して流れ、当時の川幅は田上新町～つつじヶ丘に及ぶとあります。小立野段丘と同じ礫は、鈴見台2丁目の高所・若松町専徳寺墓地若松町東と兼六台の高所・上若松町上野(金沢刑務所含む)に分布しており、15万年前のもりの里地区は、鈴見台3・4・5丁目の高所を除き、大きな川(浅野川・犀川)の川底だったこととなります。

「鈴見郡家神社」は鈴見集落の高台に鎮座しています。この高台は浅野川によって形成された「笠舞上位段丘」(沖積面との比高は15m～20m)といい、約5万年前に形成されたが、約1万年前に地盤が上昇、笠舞上位段丘になったとあります。この段丘は犀川右岸では、涌波～笠舞～香林坊～尾張町に分布し、浅野川右岸は、上若松の京中・若松町東と兼六台の下段・旧鈴見分校・若松八幡神社・郡家神社・鈴見台2丁目笠舞上位段丘になります。

杜の里小学校東側の段丘(警備野・藪高)は、「笠舞下位段丘」(比高5m～10m)といえます。この下位段丘は犀川右岸の笠舞地区にも分布し、金沢平野部では沖積面に没し、金石では50m海面下の大陸棚面に達しているとあります。笠舞下位段丘の立地は、鈴見台1丁目上段・鈴見集落・若谷集落・若松児童公園・若松集落(下段)・専徳寺・中瀬集落です。

浅野川の沖積面(平地)については、約1万年前～現代にかけて形成された。浅野川の扇状地は材木町辺りから小扇状地が存在し、扇端は北安江～浅野本町と

ある。川の流れる緩い時は蛇行し、土地の側面を侵食し、海面の低下や土地の隆起により、上流から運ばれた礫や土砂が堆積し沖積面が生まれた。平地の広がりには地層の硬軟に関係し、田上から下流では浸食が著しく弱められ、沖積面の拡大(河床幅)になったとあります。

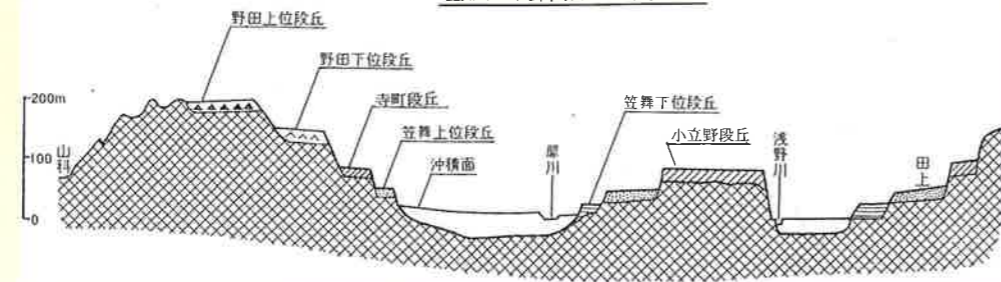
若松橋上流に見られた大桑橋(130万年前～80万年)が原因の一つとみられますが、若松ロードパーク下の角間川に大桑層(貝化石も)を見る事ができます。沖積面は、旭町1～3丁目・杜の里小学校・もりの里1～3丁目になります。

若松町南斜面の茨尾(若松町兼六台)・牧野(角間新町)などは、角間川の浸食によって形成されたといえますが、その牧野近くの「角間川遺跡」は、石川県でも数少ない約7・8千年前の縄文早期遺跡とされています。縄文人がこの地に留まったのは、当時、浅野川との川合いが付近まで迫っており、漁獲りに適した場所だったからではないだろうか。

※引用・参考文献 石川県の地質・角川日本地名大辞典・さきうら 過去 現在そして未来 崎浦公民館・辰日ダム関係文化財調査団

郷土歴史研究家 亀田輝之

金沢の河岸段丘の断面図



緑地小公園清掃(各月) パンジー植付(11/14) プランター撤去(11/29)



落葉清掃(12/5) 杜の里小花植付指導(12/11) ホテル放流(R3.3/23)

郷土こぼれ話 大刀の山とちようずばち(完)

大比は、「お宮さんに、ちようず鉢が無いなんておかしい。ちようず鉢によい大きな石を持ってくるとするか。そう思って山へ石を取りに出かけた。やがて、大きな石を境内までかついで持ってきたが、このようすを見た村人たちは驚いてしまった。「いったいどうしたというのだ。」

「あの石は80貫以上もありそうだ。」

「ええっ、80貫。」「そうだと思うが。」

「それが本当ならば、郷一番じゃないか。でもやっぱり信じられんわ。」「それじゃ、量ってみるか。」「そうじゃ、」やがて、村人が境内に集まって来た。

「みなさん、どうしたというんです。」

「実はな、お前が運んで来た石のことじゃが、あの石は、こいつが80貫以上ありそうだというもんでな。」「ええっ、おらはとても持てるわけがないだろう。きのう見たとおり。」

「それはわかるとして。まあ、とにかく量ってみるからな。」村人は8人かがりて量ってみた。

「これは驚いた。100貫だあ。いったいどうしたことなんだ。」

「おおい。太比は100貫の石を持ち上げたぞう。」

「いや、山から運んで来たんじゃ。」

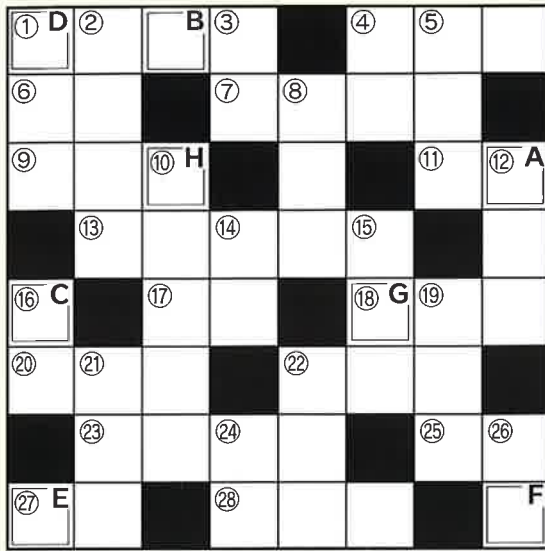
「おおい。」

驚きの知らせで、村の衆は続々と集まって来た。太比は自分のしたことを疑っていたが、押しかけてくる村人を見ると、信じないわけにはいかなかった。

「神様ありがとうございます。」

太比の心は、神への感謝であふれんばかりであった。そして何を思ったか、きのう登った山をめざして、一目散に走って行った。こんなことがあってから、太比は郷一番の力持ちになった。そして神のお告げのあった山を、いつのまにか「大力(おおちから)」と言うようになったのである。また、太比の運んで来た石は「ちようず鉢」として、田上町の神明社の境内に今も横たわっている。この神のお告げのあった大力山は現在の田上新町集会所の山だといわれています。

クロスワードパズル



答	A	B	C	D	E	F	G	H
---	---	---	---	---	---	---	---	---

→ ヨコのカギ

- ① 電車、バスなど立っていると
き捕まるもの
- ④ 一定の手続きを踏まないで
訴える
- ⑥ 畑で栽培するイネ科の一年草
- ⑦ 名字
- ⑨ 人の行うべき道徳
- ⑪ 大きな石
- ⑬ 鮮やかな青色
- ⑰ 花を生ける容器
- ⑱ 方向を計る器具〇〇〇盤
- ⑳ 計画をたてること
- ㉒ 不足を補って助ける
- ㉓ 年始の手紙
- ㉔ 公共事業等に金品を差し出す
こと
- ㉗ 夏によく鳴く昆虫の一つ
- ㉘ かえりみること

↓ タテのカギ

- ① 海岸や沼地等を埋め立てた土地
- ② 家族団らの部屋
- ③ 蚕の繭から取ったもの
- ④ ボクシングの練習場
- ⑤ 好きの反対
- ⑧ 関係すること
- ⑩ 京都左京区の慈照寺の通称
- ⑫ 手押し車
- ⑭ あることが盛んに行われる季節
- ⑮ 衣服などの裏側につける布
- ⑯ 燃料に用いる木
- ⑰ それぞれの人のこと
- ⑲ 議事の記録など当たる役
- ㉑ 物を写しみる道具
- ㉒ つつみ囲むこと
- ㉔ 昔のことを思いおこすこと
- ㉘ 僧に金銭や品物を施し与える
こと

◎37号の正解者の中から抽選で15名様に粗品を5月上旬に発送
します。

◎37号の解答は、令和3年7月発行の38号に掲載します。

◎36号の解答は「奥卯辰山健民」公園でした。

応募方法

◎郵便はがきに解答と住所、氏名、感想等を記入し、
4月30日までに、次の所へお送りください。

〒920-1165 金沢市若松町3-281

NPO金沢杜の里情報公開委員会係

杜の里小避難所開設訓練

1月24日(日)、杜の里小学校避難所運営協議会の
役員及び山田学校長等の参加で、機材点検やコロナ
感染防止対策による2箇所の受付設営、三密を避け
るための避難場所のソーシャルディスタンス確保に
基づき、開設訓練を行った。

寒さ対策、情報機器の確保、非常用電源対策など
の新たな課題、発生時の人員配置や検温を伴った受
付方法の実演や掲示物の設置箇所の検討と、校舎及
び体育館内の区割りに伴う避難所としての総定員の
把握に努めた。 防災士 城岸整功



令和3年度がスタートしました。昨年中は新型コロナ
ウイルス感染防止で各種行事のイベントが中止とな
りました。1日も早い収束で、今年度は安心して開催
できることを願っています。

当法人は今年度もより一層豊かな自然環境と景観を保
全し、緑と花の溢れる街づくり活動を進めて参ります。
皆さまの暖かいご意見、ご感想、ご支援を賜りますよう
お願い申し上げます。 (編集後記)

ふるさと探訪

若松三大祭り・若松杜の里桜まつり

2006年(平成18年)4月15日山側環状線が田上
交差点から長坂台小学校東交差点間が開通した日に、
第1回若松杜の里桜まつりが開催されました。平成元
年に医王の道沿道に植樹された桜並木をキャンドルで
ライトアップし、メイン会場の医王の杜公園に1万個
のローソクが沿道や浅野川の両側に「杜の里」等の
文字と留学生制作によるキャラクターが夜桜を美しく
照らし出しました。

若松杜の里桜まつりは多くの人々にもりの里の桜を
楽しんでもらい、浅野川周辺の自然、住みよい街を
再確認し、地域交流を目的としたお祭りです。2011
年は東日本大震災の影響で見送りましたが、翌年メ
イン会場に「絆」の大文字を大きく灯しました。昨年
は新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催を中止
しましたが、この困難を乗り越え、若松杜の里桜
まつりを皆で楽しむ日が来ることを願います。

若松杜の里桜まつり実行委員長 藤川洋右

